

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月5日

下関市長 殿

提出者

住 所 山口県下関市菊川町大字上田部787番地36

氏 名 有限会社ミツモリ

代表取締役 森下 千佳

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 083-288-0480

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

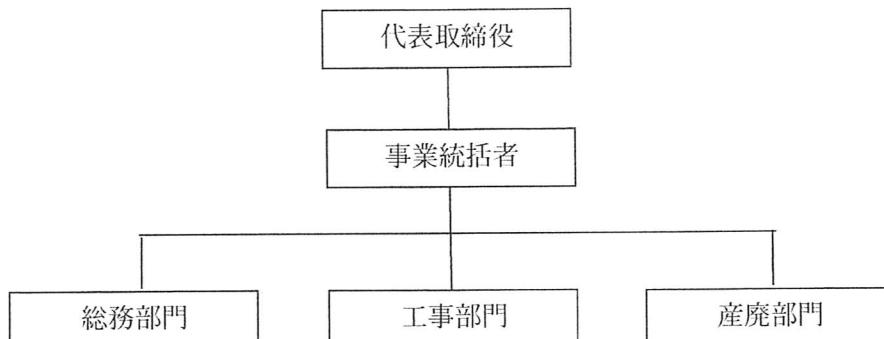
事業場の名称	有限会社ミツモリ
事業場の所在地	山口県下関市菊川町大字上田部787番地36
計画期間	令和7年(2025年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	はつり解体工事業(日本産業分類・細分類 0796)
②事業の規模	元請完成工事高 110百万円(令和6年度)
③従業員数	11人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物発生(解体等工事現場) → 運搬(当社又は産業廃棄物収集運搬業者) → ①産業廃棄物中間処理(破碎・選別等の処理、再生骨材等のリサイクル製品化) → 最終処分(埋立/処理残渣) → ②焼却 → 最終処分(埋立) → ③直接最終処分(埋立/リサイクル不可物)

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



以下のすべての事項の「産業廃棄物の種類」及び「排出量」は、【別紙】記載の通り。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	別紙の通り t	t
(これまでに実施した取組) 再資源化に努めている。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	別紙の通り t	t
(今後実施する予定の取組) 再資源化業者を選んで、リサイクル率を向上させる。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類は分別するとともに、石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類は分別するとともに、石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
(これまでに実施した取組) ・解体工事等で発生した金属類は回収し、売却している。	
【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量
(今後実施する予定の取組) ・解体工事等で発生した金属類は回収し、売却する。 ・積極的にリサイクルを行う産業廃棄物処分業者へ処理を委託する。	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量
(これまでに実施した取組) ・中間処理を行う施設を有していない。	
【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量
(今後実施する予定の取組) ・積極的にリサイクルを行う産業廃棄物処分業者へ処理を委託する。	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t 別紙の通り	t
(これまでに実施した取組) ・埋立処分場を有していない。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t 別紙の通り	t
(今後実施する予定の取組) ・積極的にリサイクルを行う産業廃棄物処分業者へ処理委託をし、最終処分量を削減する。			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t 別紙の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) ・信頼できる産業廃棄物処分業者へ処理を委託している。			

(第5面)

【目標】		
② 計画	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t 別紙の通り
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
(今後実施する予定の取組) ・信頼できる産業廃棄物処理業者へ処理を委託する。 ・優良産業廃棄物処分業者への委託を増やす。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(令和7年度計画)

別紙1-1

多量排出事業者 名 称	有限会社ミツモリ		所在地(市町名)	下関市	事業の種類	はつり解体工事業
-------------	----------	--	----------	-----	-------	----------

区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項		自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項											
		排出量		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う 産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画		
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥																				
	廃油	1.8	1.8									1.8	1.8			1.8	1.8				
	廃酸																				
	廃アルカリ																				
廃棄物	廃プラスチック類	17.4	15.0								17.4	15.0			17.4	15.0					
	紙くず	242.6	220.0								242.6	220.0			242.6	220.0					
	木くず																				
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
物質	動物系固形不要物																				
	ゴムくず																				
	金属くず																				
	ガラスくず、コンクリートくず、 陶磁器くず	33.9	30.0								33.9	30.0			33.9	30.0					
	錆さい																				
生物	がれき類	831	800								831	800			831	800					
	動物のふん尿																				
	動物の死体																				
	ばいじん																				
	13号廃棄物																				
計 (A)		1,127	1,067	0	0	0	0	0	0	0	1,127	1,067	0	0	1,127	1,067	0	0	0		

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 5 日

下関市長 殿

提出者

住 所 山口県下関市菊川町大字上田部787番地36

氏 名 有限会社ミツモリ

代表取締役 森下 千佳

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 083-288-0480

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	有限会社ミツモリ
事 業 場 の 所 在 地	山口県下関市菊川町大字上田部787番地36
事 業 の 種 類	はつり解体工事業(日本産業分類・細分類 0796)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年(2024年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1,127 t	全 処 理 委 託 量	1,127 t
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	720 t
自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和6年度実績)

多量排出事業者 名 称	有限会社ミツモリ	所在地(市町名)	下関市	事業の種類	はつり解体工事業
-------------	----------	----------	-----	-------	----------

別紙1-3

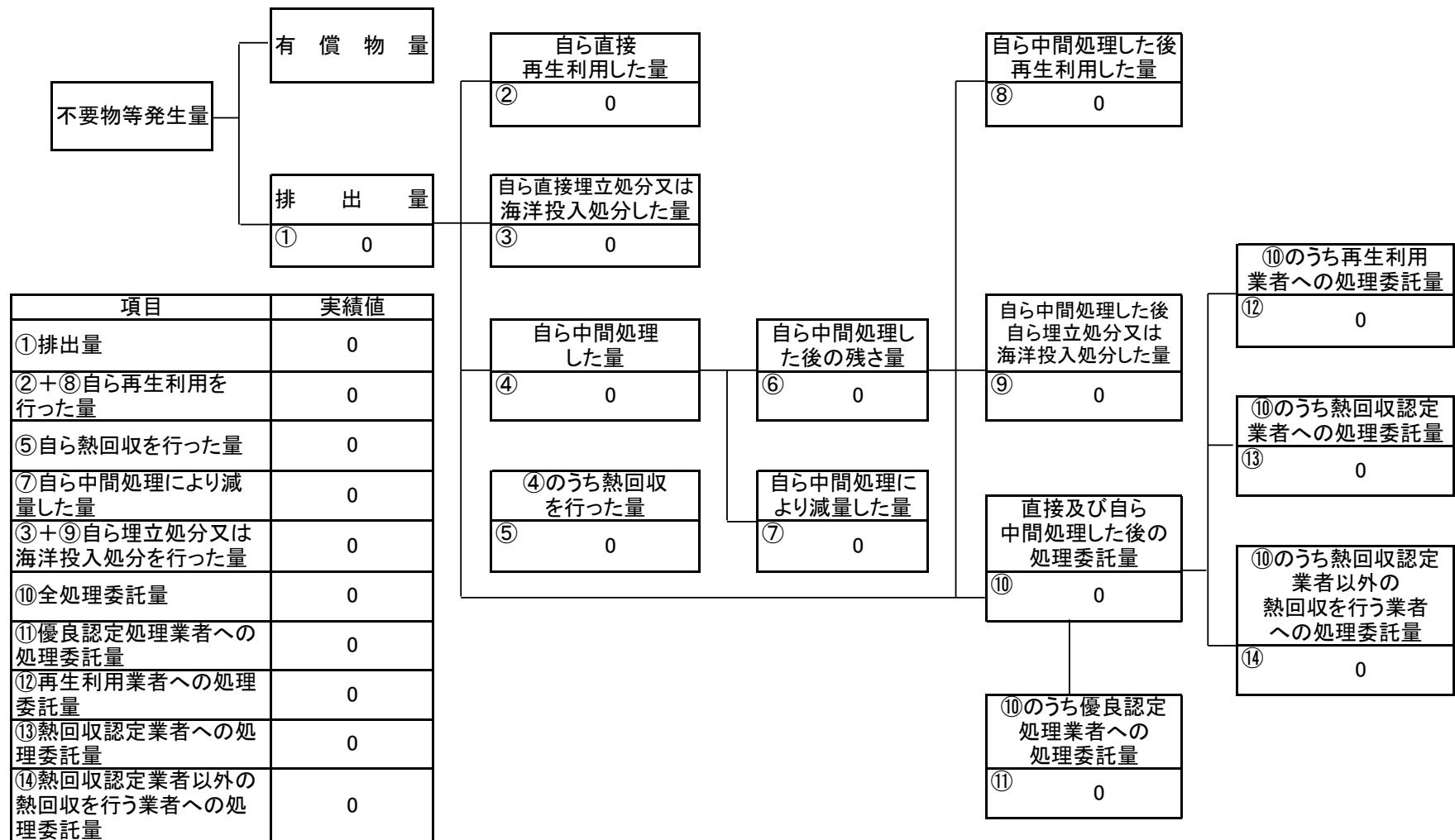
区分	種類	計画の実施状況										④のうち再生利用率への処理委託量	⑤のうち熱回収を行った量	⑥のうち中間処理した後の残さ量	⑦のうち中間処理に利用した量	⑧のうち中間処理した後、自ら中間処理立替又は委託した量	⑨のうち中間処理した後、自ら中間処理立替又は委託した後の処理要託量	⑩直接委託及び自ら中間処理した後、自ら中間処理立替又は委託した後の処理要託量	⑪のうち最終処理業者への処理委託量	⑫のうち中間処理業者への処理委託量	⑬のうち最終処理業者への処理委託量	⑭のうち熱回収認定事業者への処理委託量	⑮のうち熱回収認定事業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
		①排出量	②自ら直接再生利用率	③自ら直接処理した量	④自ら中間処理した量	⑤のうち熱回収を行った量	⑥のうち中間処理に利用した量	⑦のうち中間処理した後、自ら中間処理立替又は委託した量	⑧のうち中間処理した後、自ら中間処理立替又は委託した後の処理要託量	⑨のうち中間処理した後、自ら中間処理立替又は委託した後の処理要託量													
産業廃棄物	燃え灰										0	0			0		0						
	汚泥										0	0			0		0						
	废油	2									2	0			2		2			2			
	废酸										0	0			0		0						
	废アルカリ										0	0			0		0						
農業廃棄物	废プラスチック類	17									17	0			0		17	17					
	紙くず										0	0			0		0						
	木くず	243									243	243	243	0	0		0						
	繊維くず										0	0			0		0						
	動植物性残さ										0	0			0		0						
工業廃棄物	動物系固形不要物										0	0			0		0						
	ゴムくず										0	0			0		0						
	金属くず										0	0			0		0						
	カラスくず、コンクリートくず、鉛さい	34									34	11	11	0		23	23						
	がれき類	831									0	0			0		0						
動物のふん尿	動物のふん尿										0	0			0		0						
	動物の死体										0	0			0		0						
	いばいじん										0	0			0		0						
	13号廃棄物										0	0			0		0						
	計(A)	1,127	0	0	0	0	0	0	0	0	1,127	720	720	0	2	0	2	405	405	0			
																		2	0	2			

①排出量 生利用を行った量	実績 量								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	⑤自ら熱回収理により減量した量	⑦自ら中間処分又は海洋投入処分を行った量	③+④自ら埋立量	⑥完全処理委託量	⑩優良認定処理委託量	⑪再生利用業者への処理委託量	⑫熱回収認定業者への処理委託量	⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者の処理委託量
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	2	2	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	0	0	0	0	17	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
243	0	0	0	0	243	0	243	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	0	0	0	0	34	0	11	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
831	0	0	0	0	831	0	466	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,127	0	0	0	0	1,127	2	720	0	2

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 燃え殻)

)



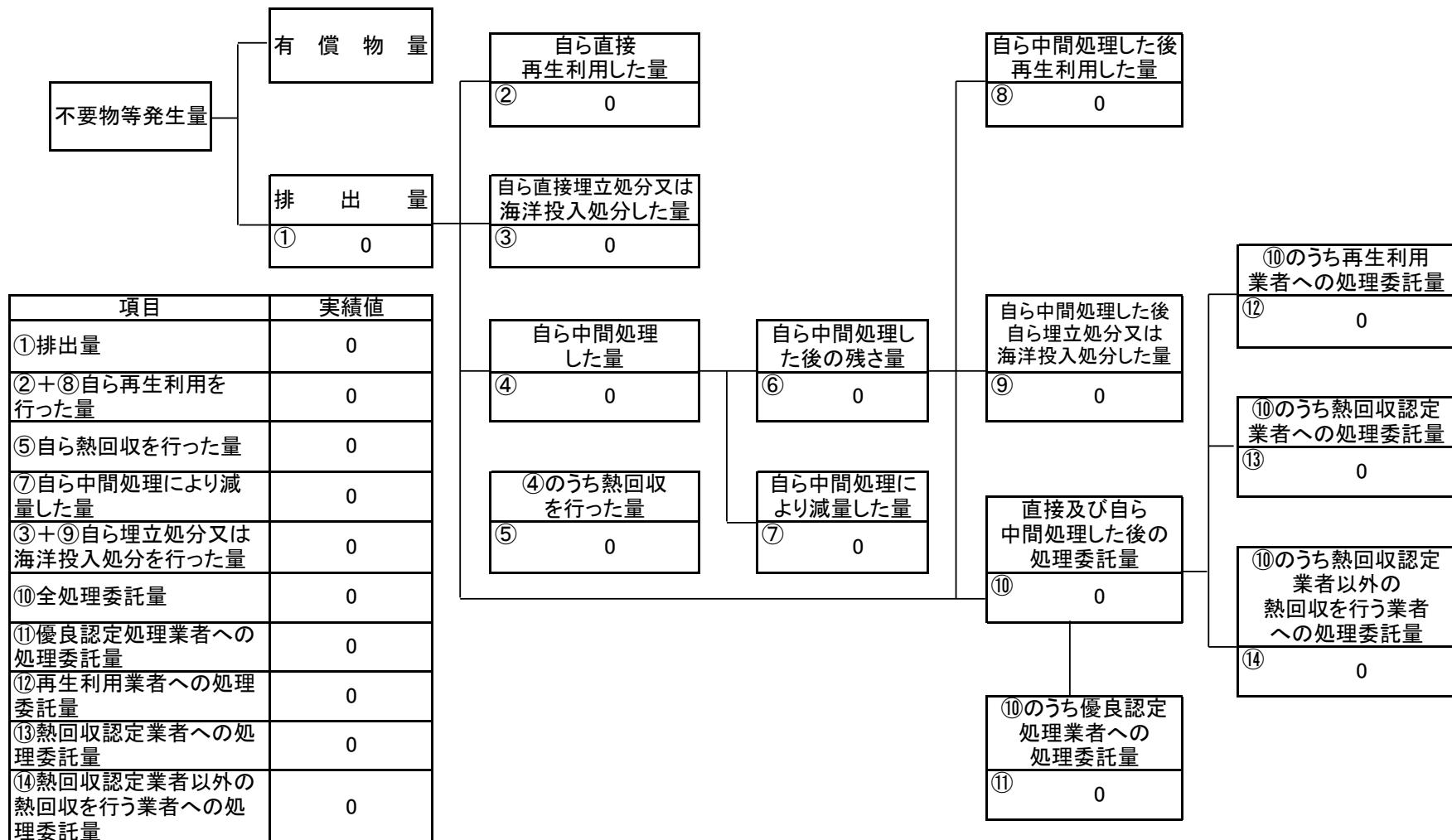
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

)

(第2面)

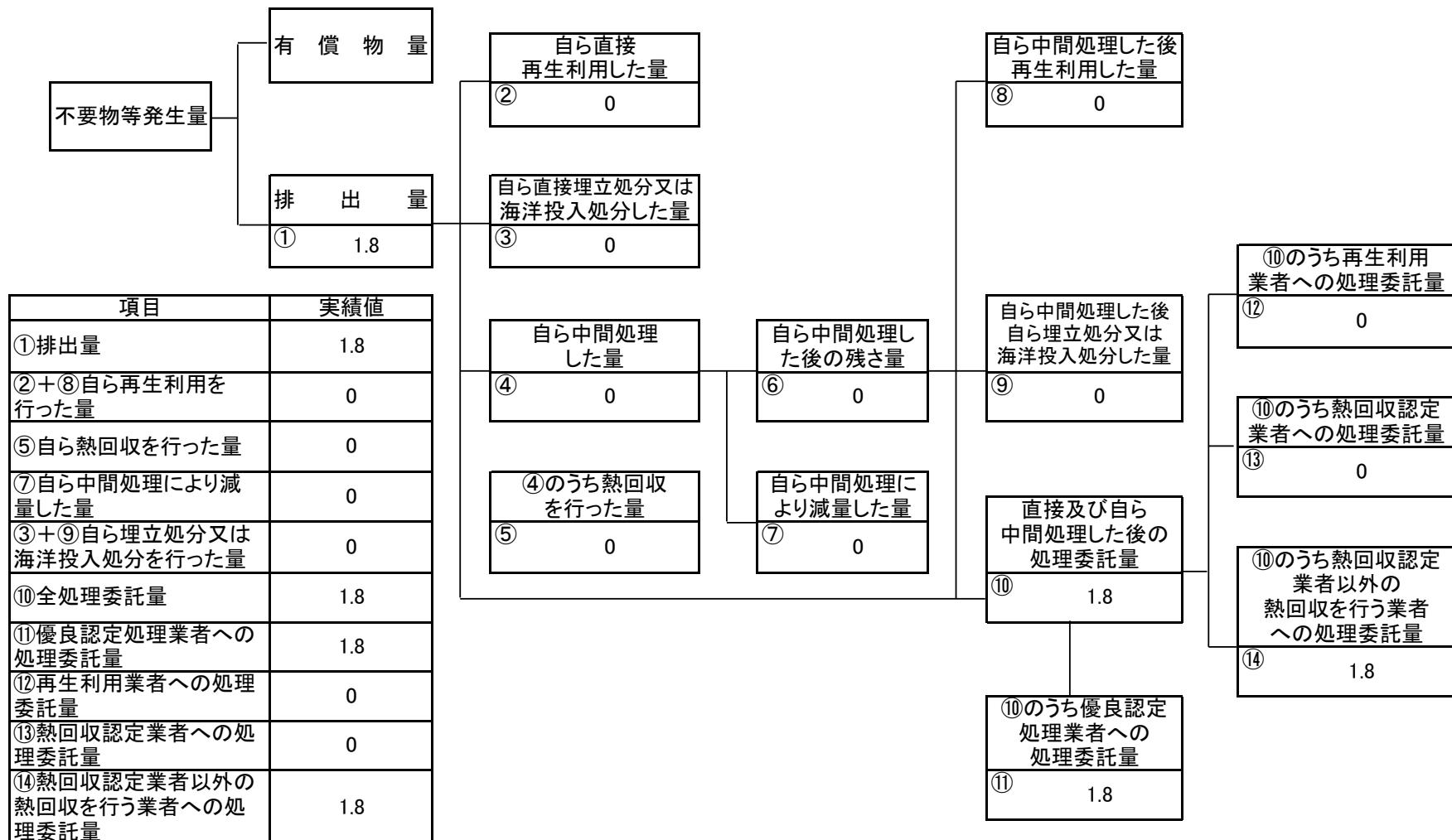


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

)

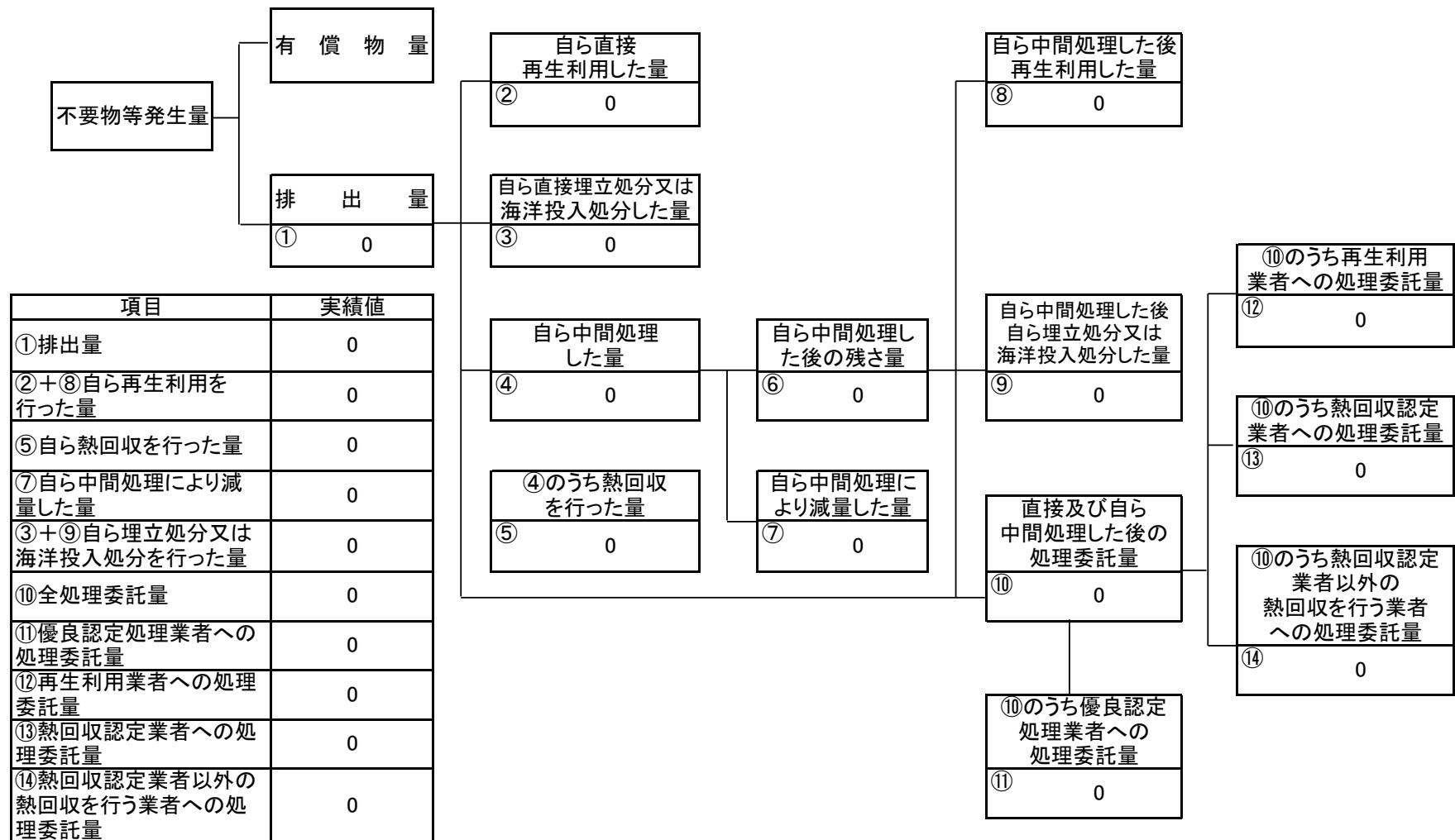
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃酸)

)

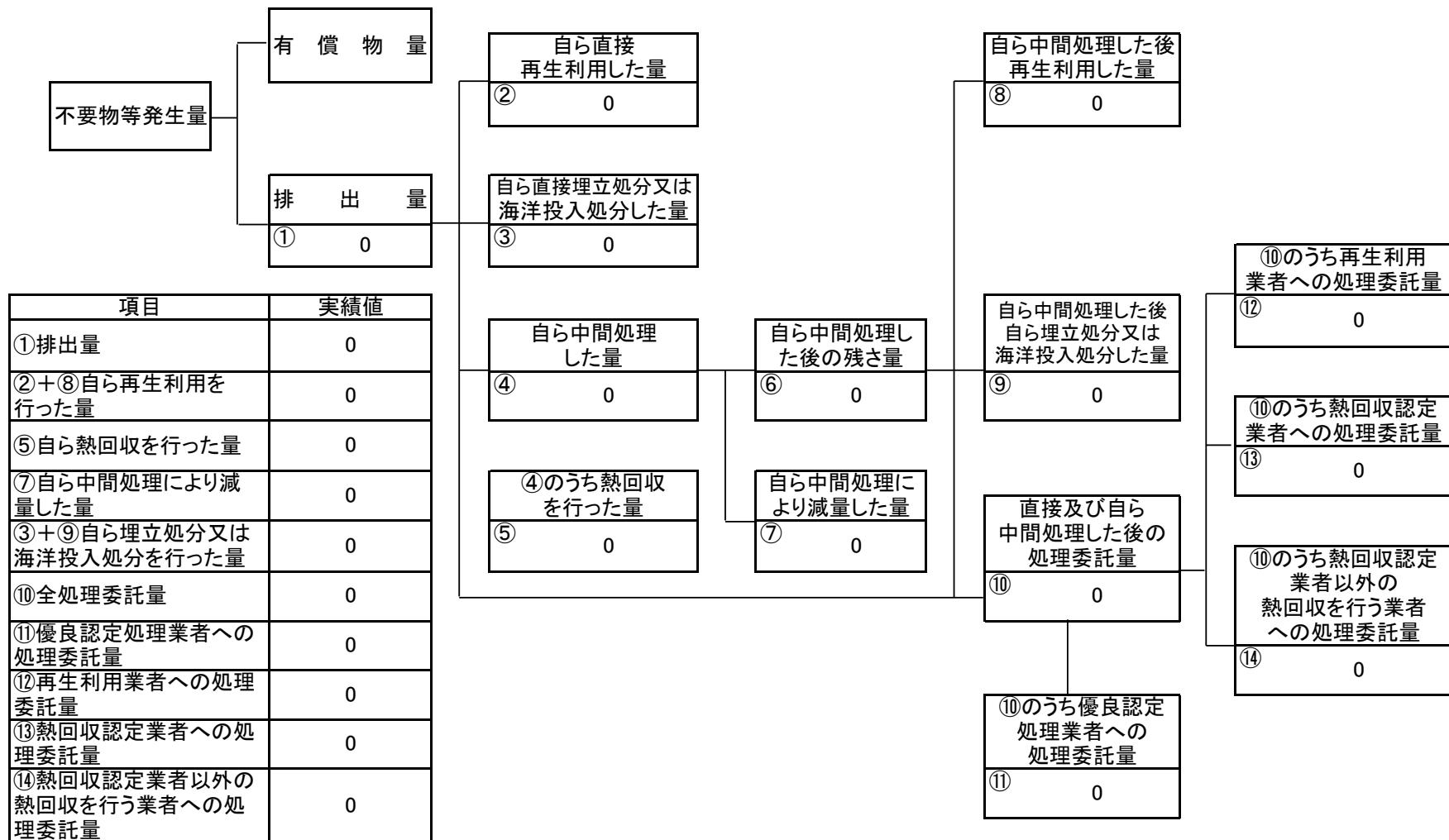


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

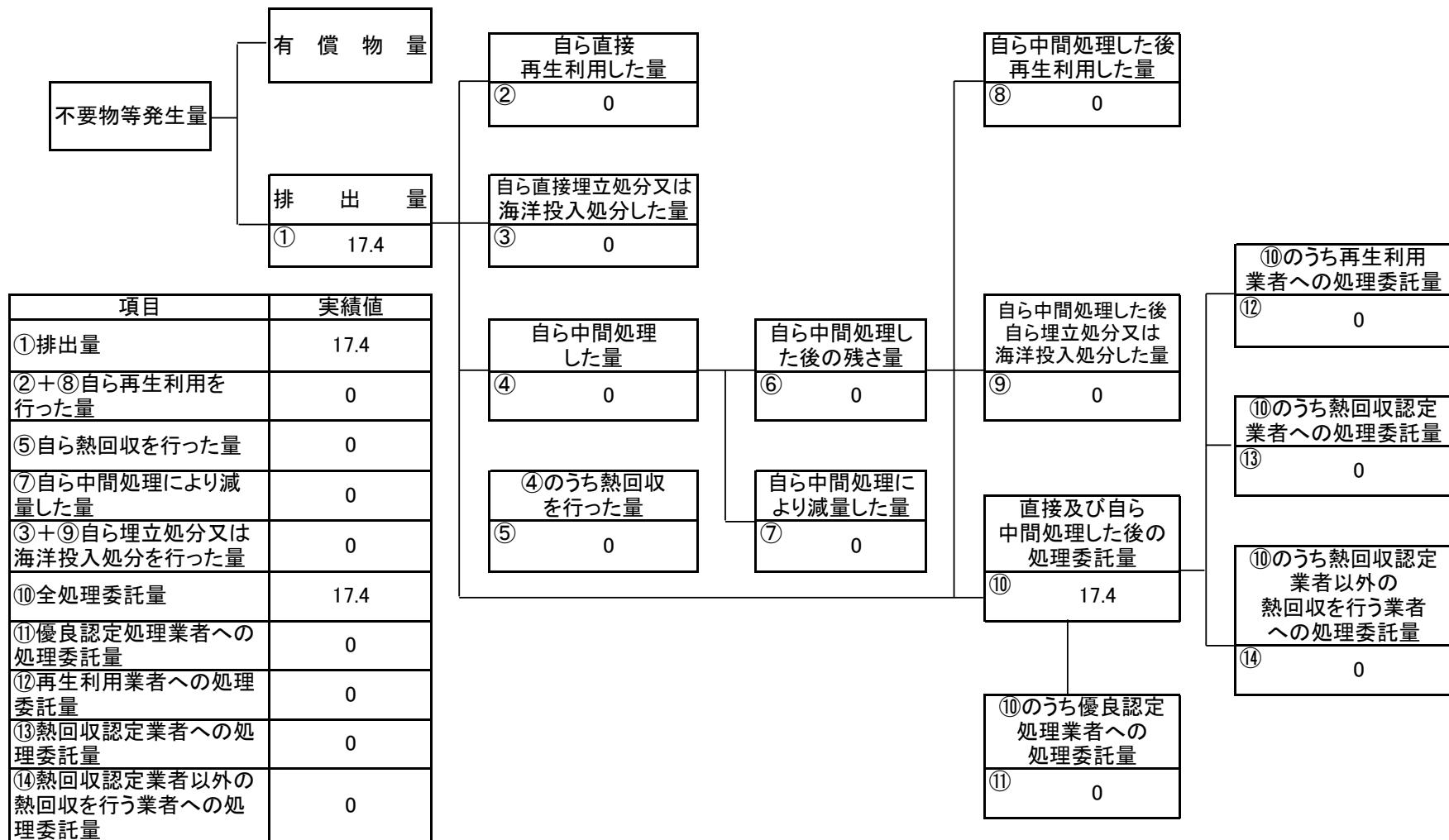
)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

)

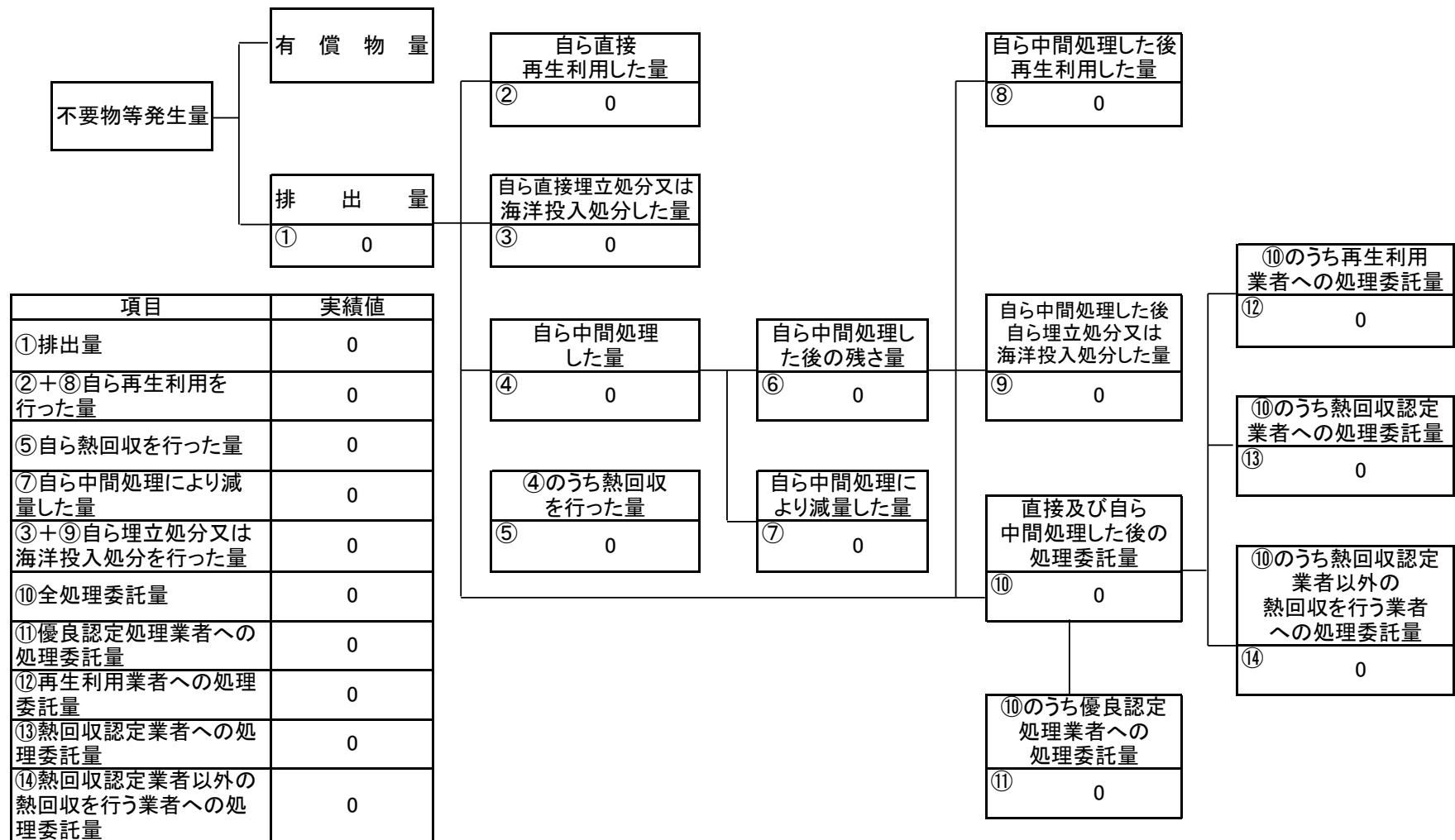


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

)

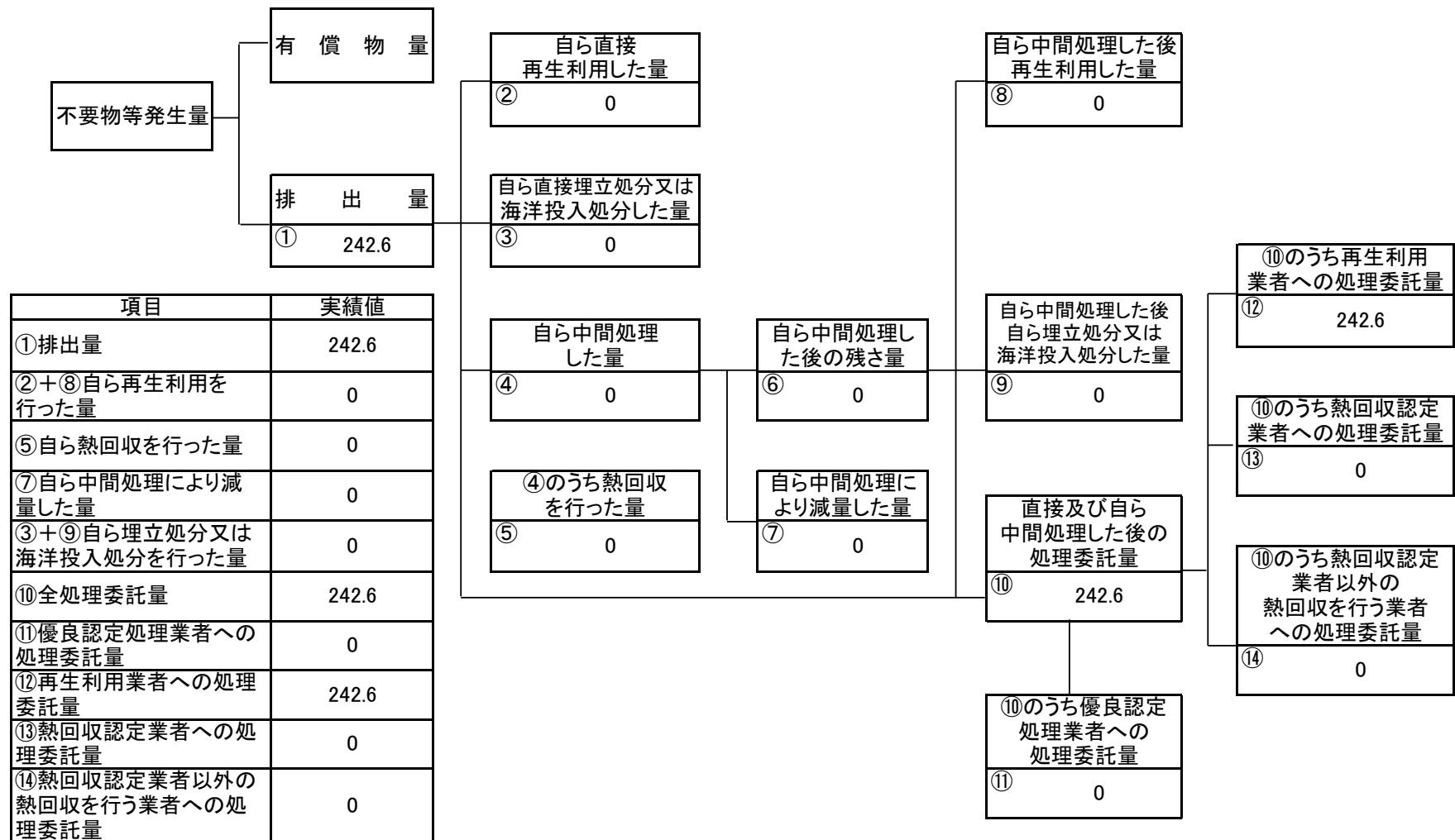


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

)

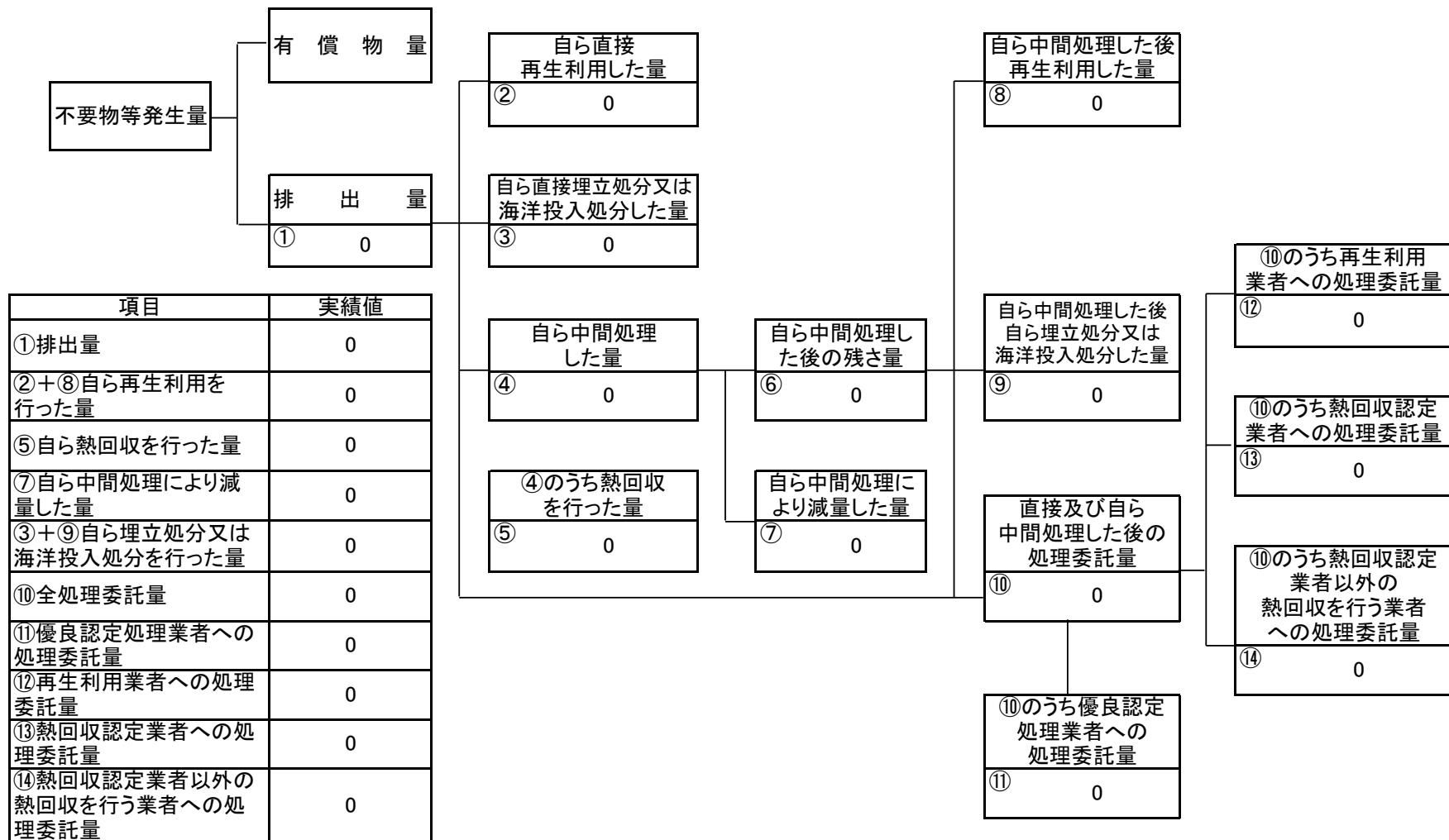


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 繊維くず)

)

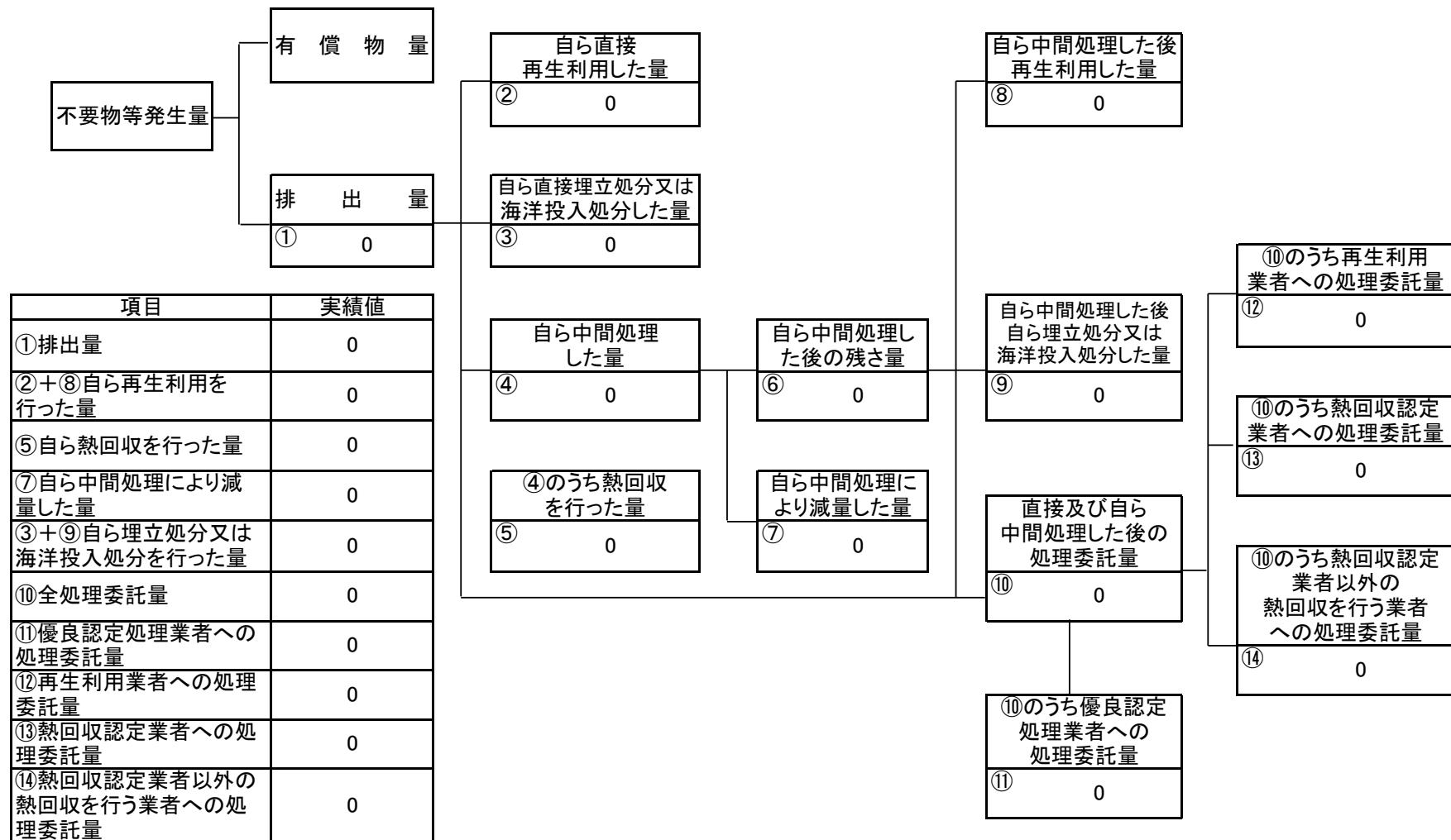


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動植物性残さ)

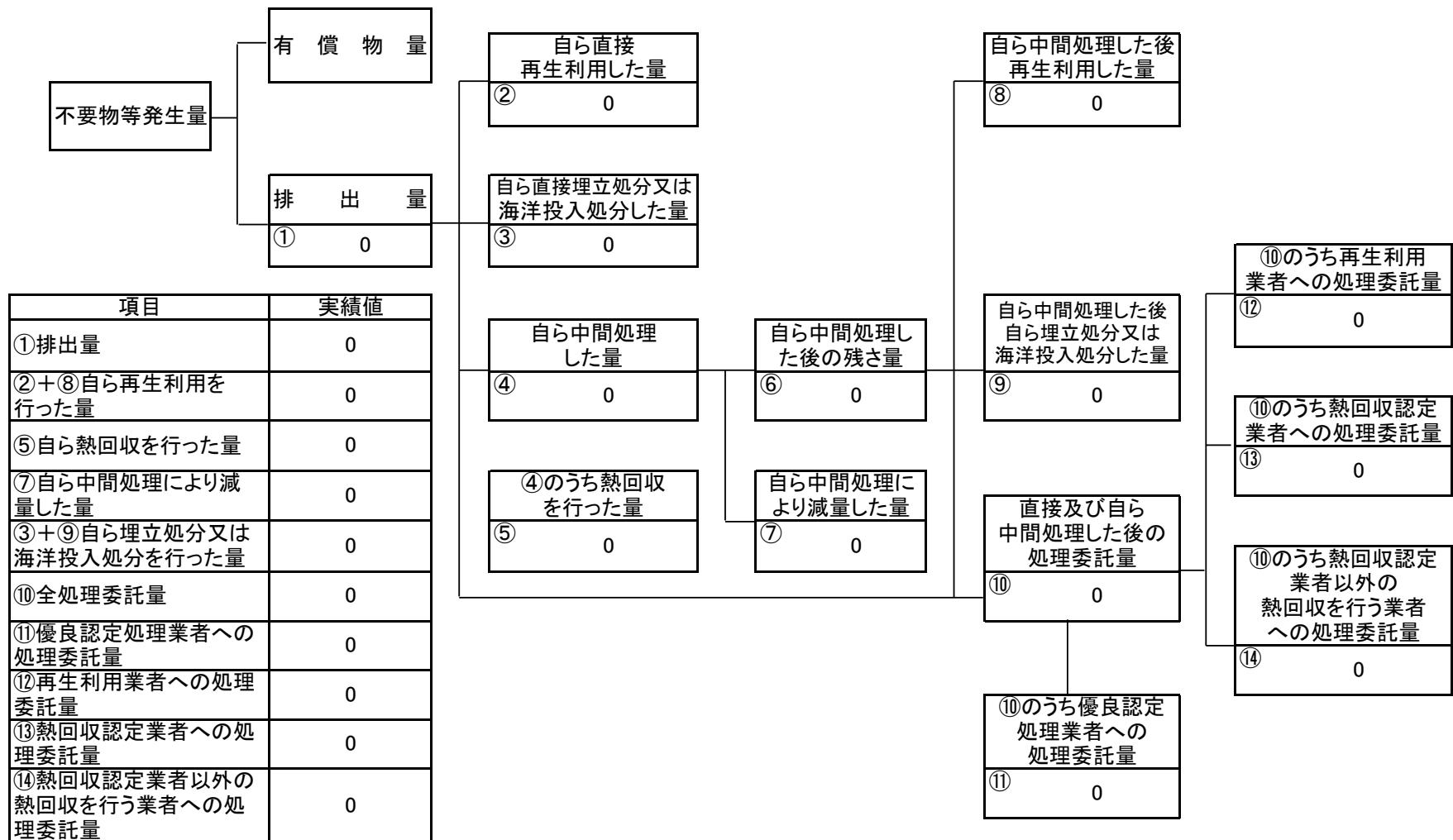
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動物系固形不要物)

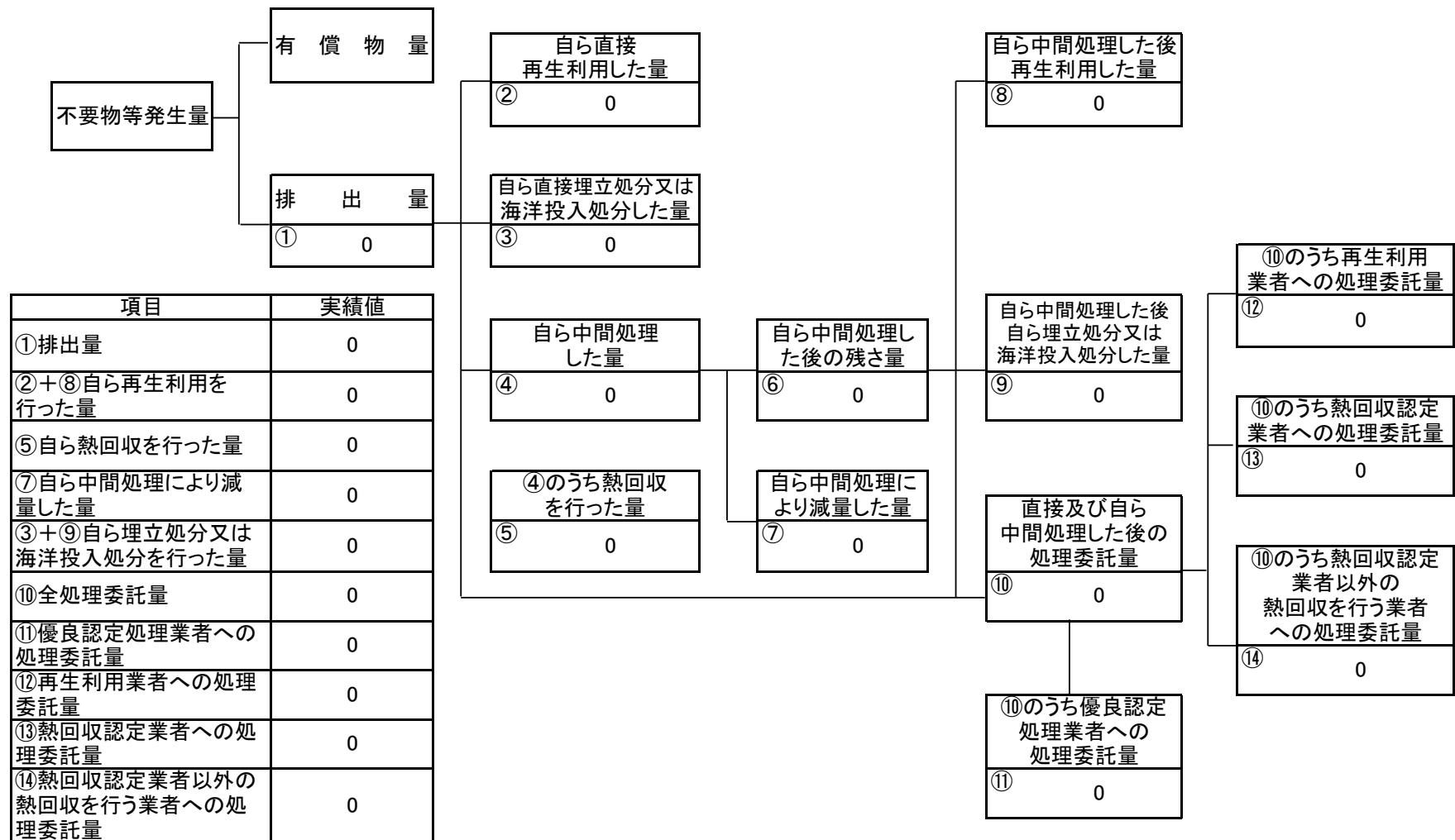


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ゴムくず)

)

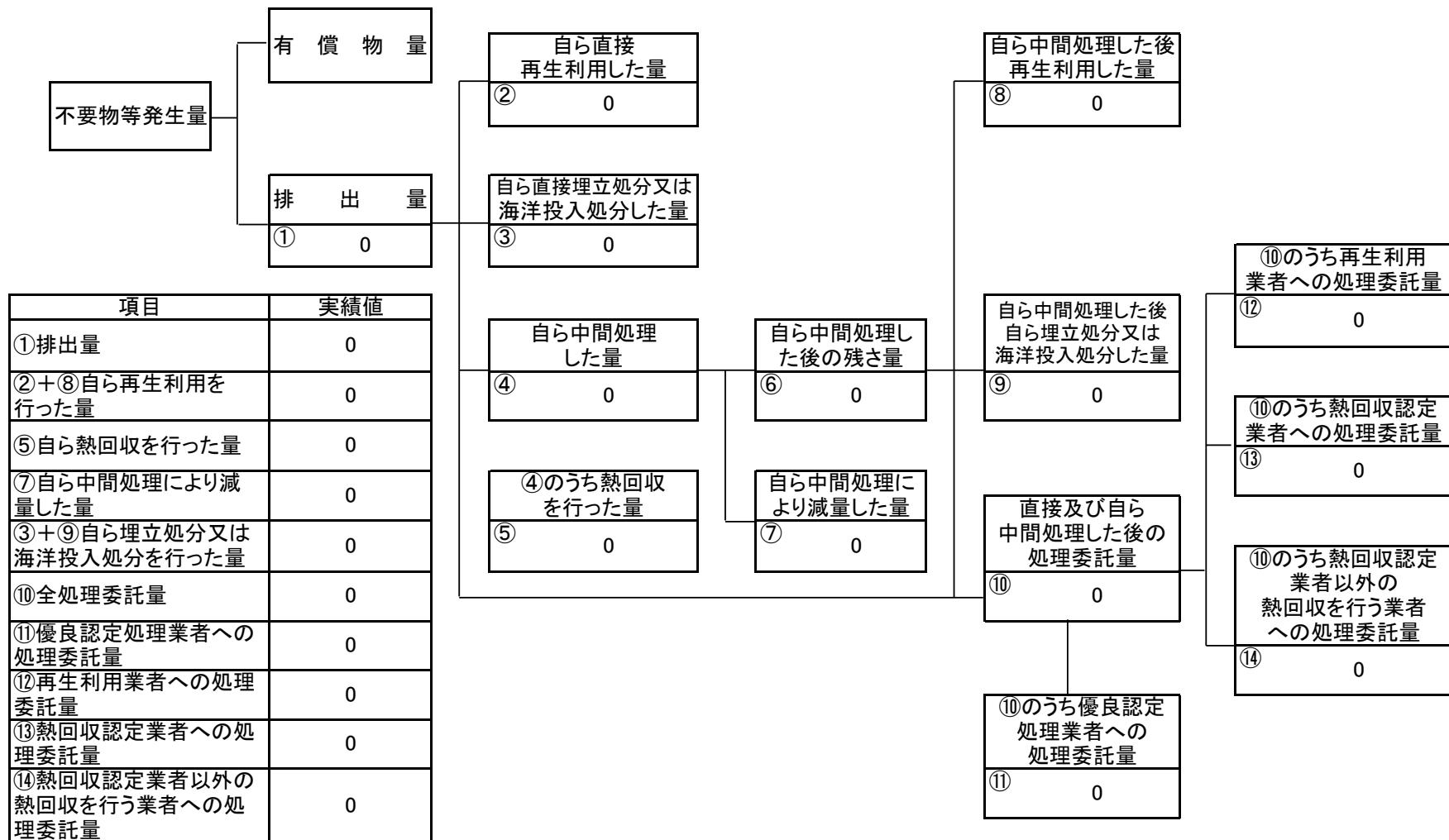


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

)

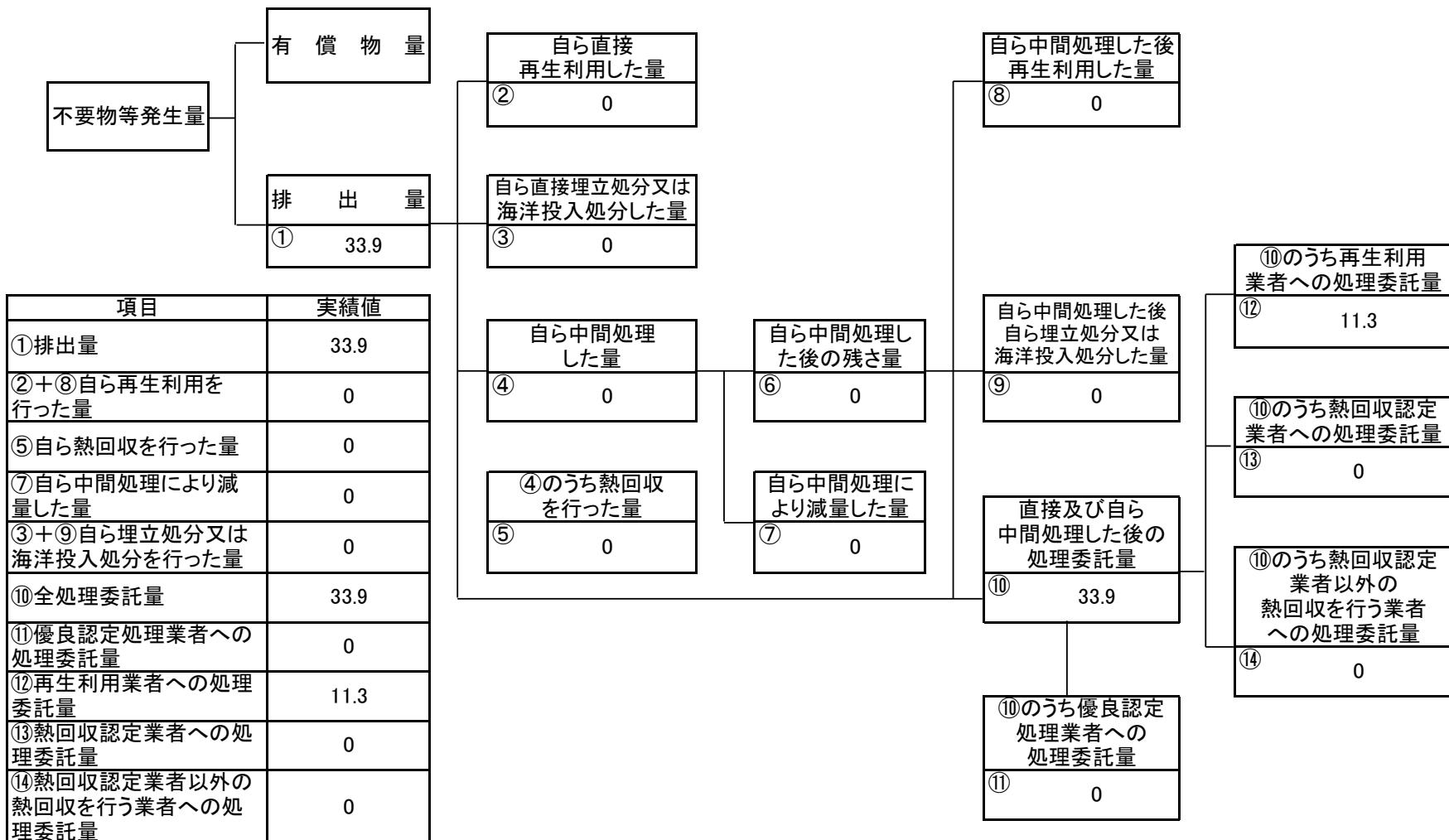


(第2面)

計画の実施状況

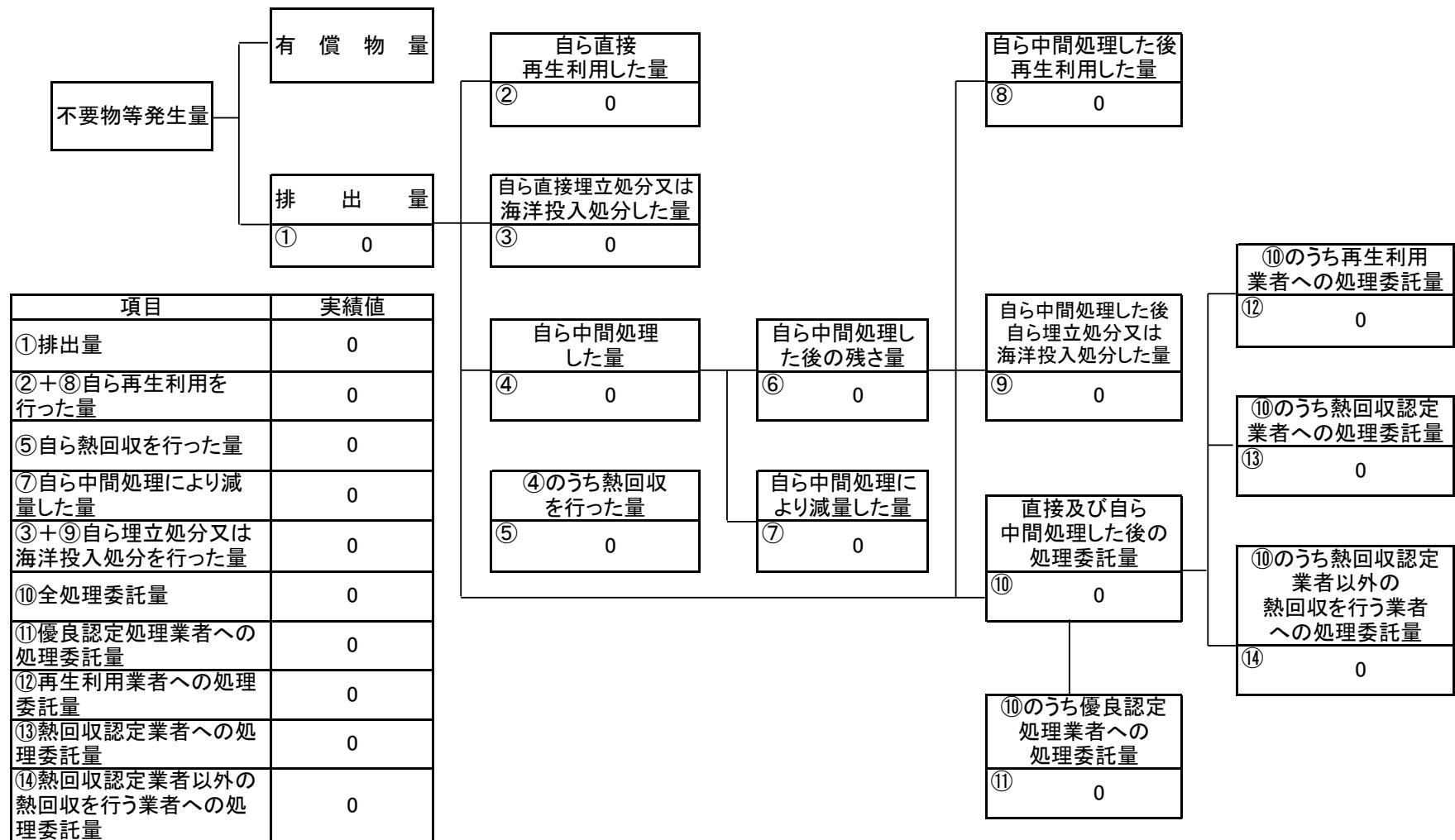
(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 鉱さい)

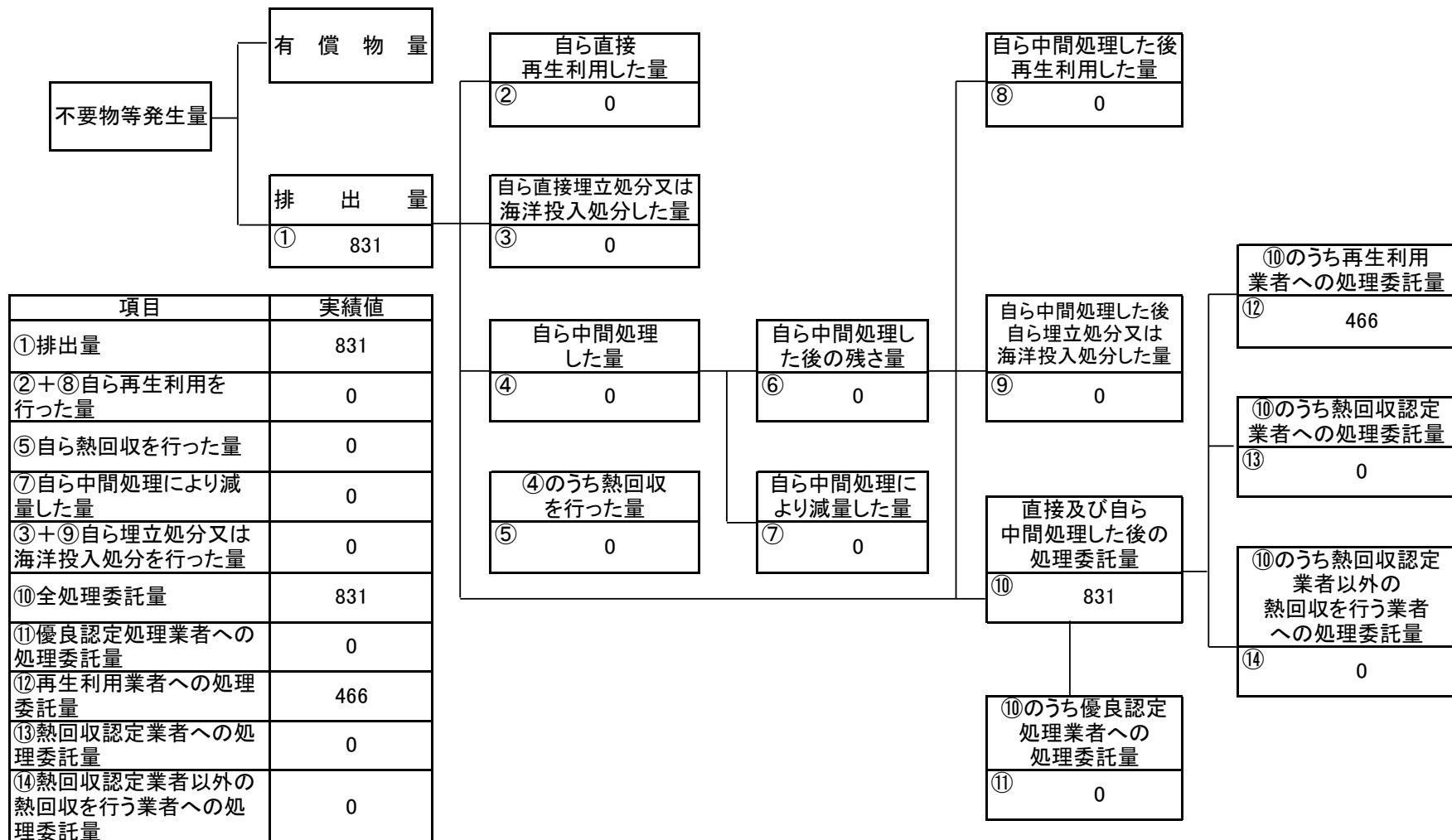


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

)

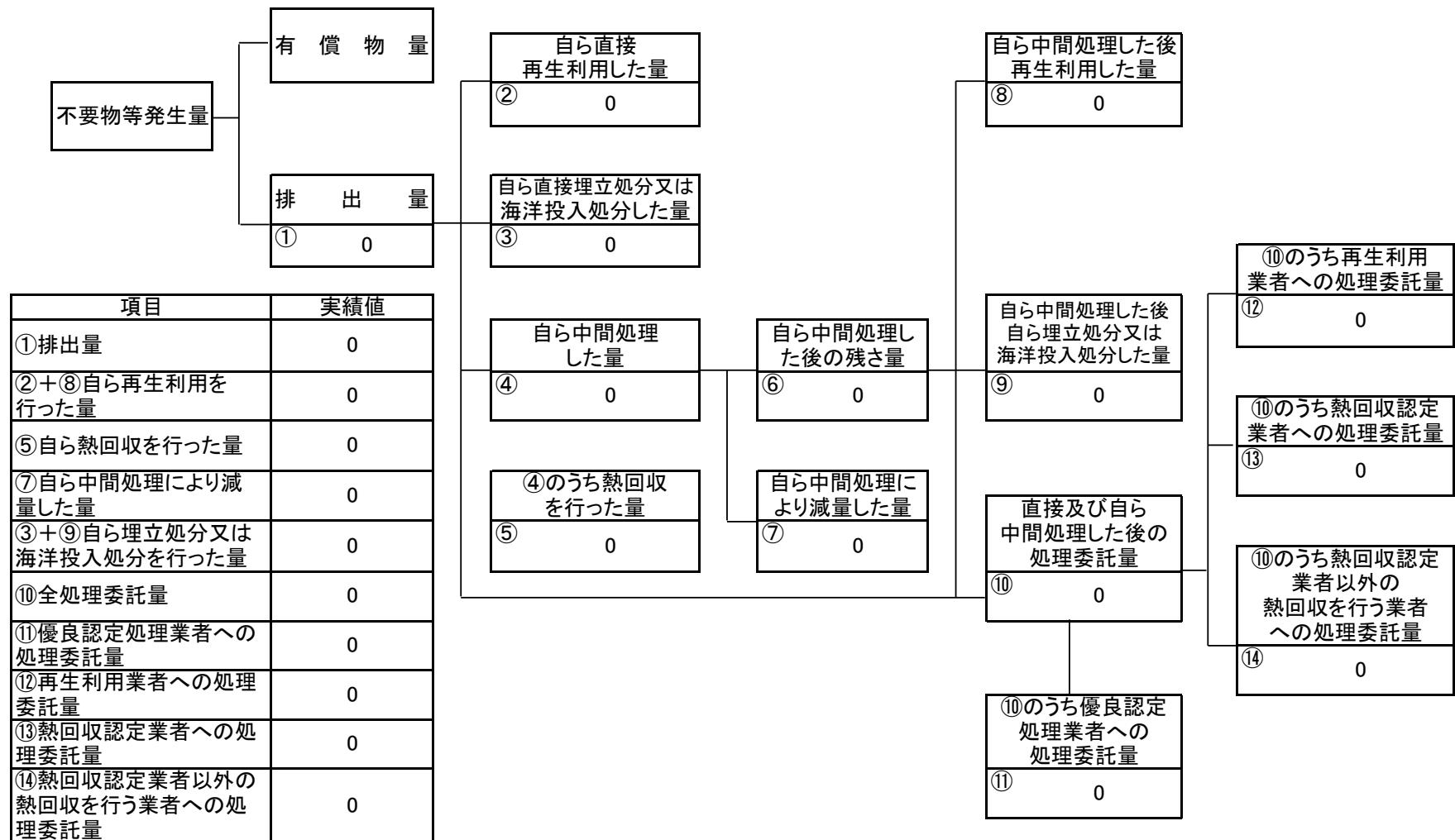


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動物のふん尿)

)

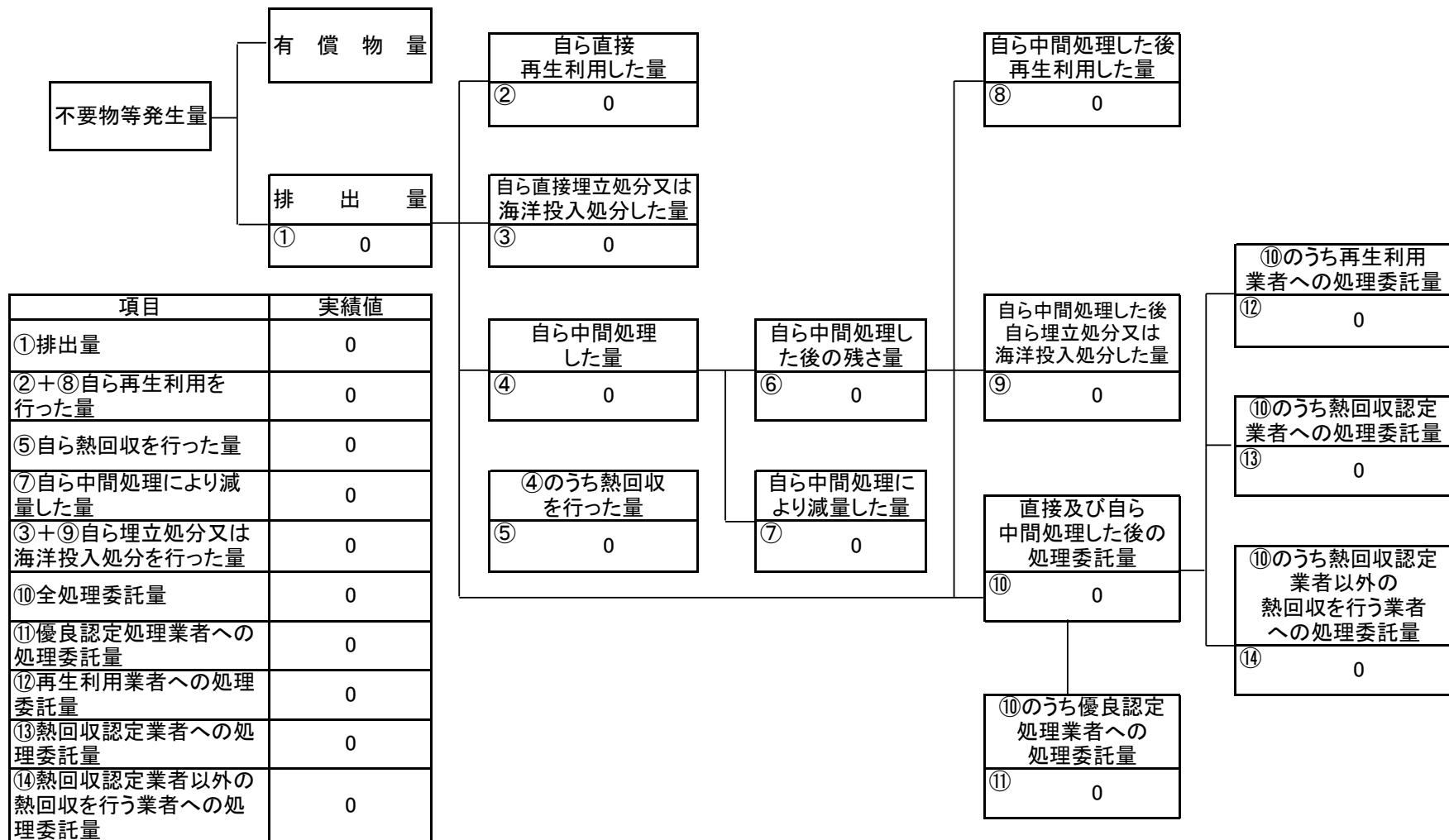


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動物の死体)

)

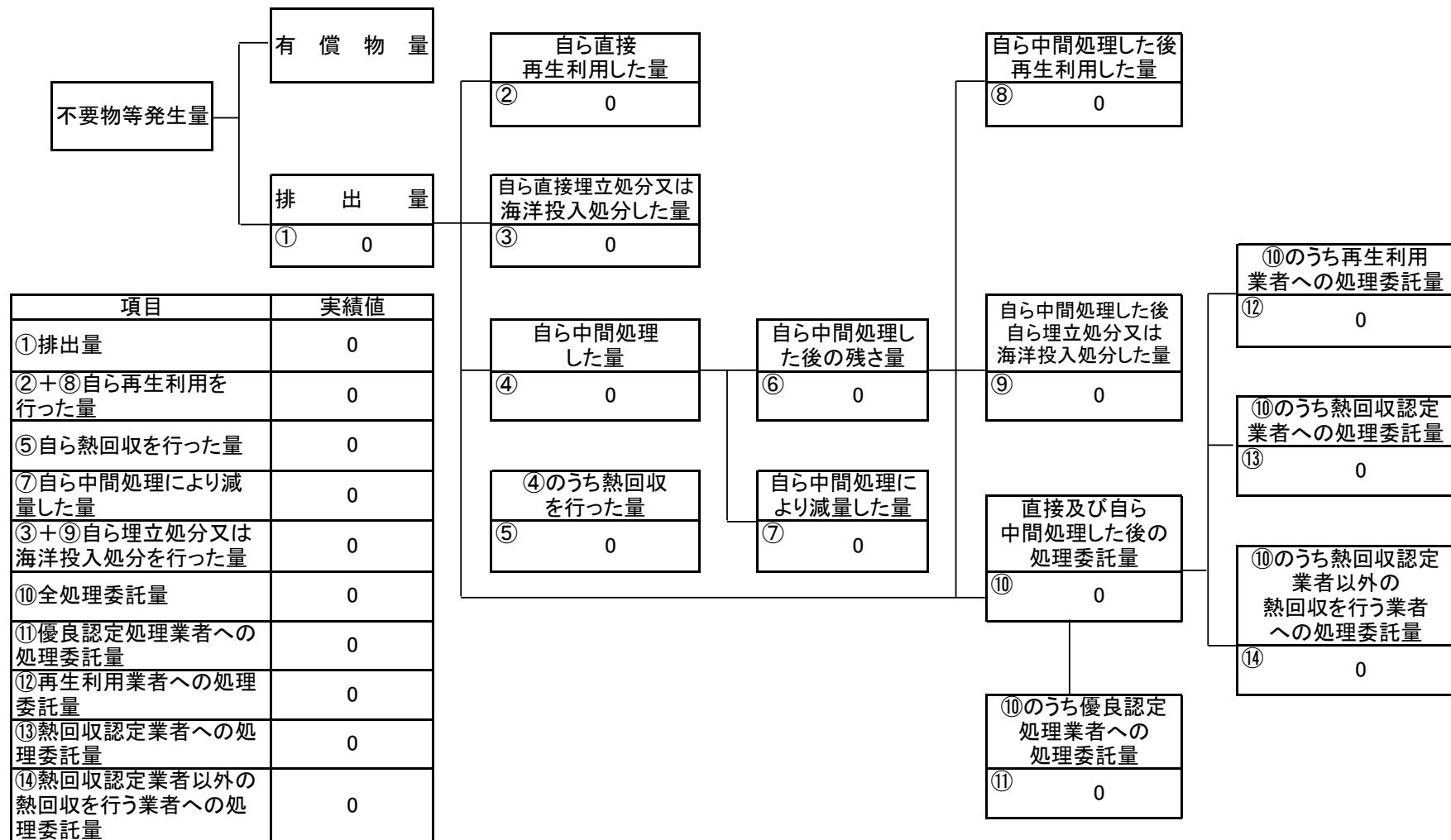


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ばいじん)

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 13号廃棄物)

)

(第2面)

